

Avino

ステレオ カセット テープデッキ

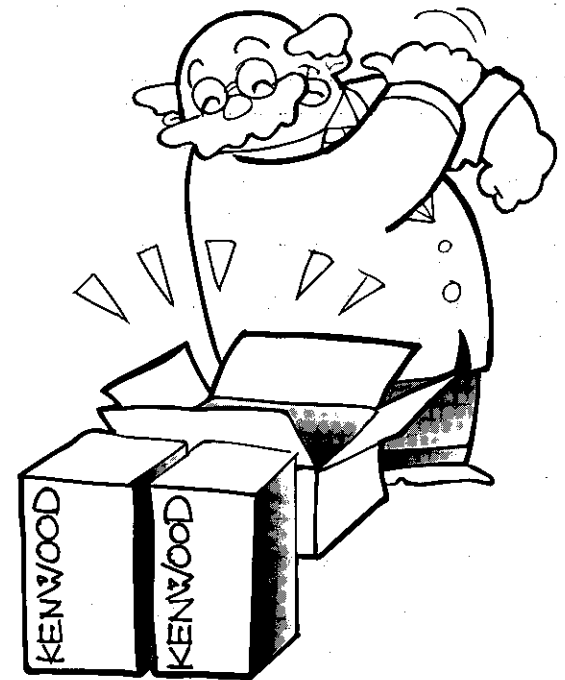
X-SG7

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用前に、この取扱説明書をお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返してお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

本説明書の他に、取扱説明書・別冊『安全上のご注意』が付属されています。
使用者の安全のため、必ず別冊の内容もお読みの上ご使用ください。



KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室 (東京) 電話 (03) 3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9
(大阪) 電話 (06) 6357-5335 〒534-0024 大阪市都島区東野田町 1-20-5 (大阪京橋第一生命ビル)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、添付の「ケンウッド サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

KENWOOD

B60-4374-00 00 (MA) (J) (AP) 9902

本機の特徴

再生時に便利なDPSS機能搭載

- カセットテープなのにCDのようにいろいろな再生を楽しめます。
- 曲を飛び越して聴く(飛び越し選曲)
- 同じ曲を繰り返し聴く(1曲リピート)
- テープを巻戻して始めから聴く(巻戻し再生)
- 無音部分を早送りして聴く(ダッシュ&プレイ)

本機は、アビーノシリーズと組み合わせることにより、CDの編集録音や、イージーオペレーション、タイマー再生などの便利な機能をお使いいただけます。

詳しくは、アンプ・チューナー(R-SG7)に付属のシステム取扱説明書をお読みください。

目次

はじめに.....	2	録音のしかた.....	10
本機の特徴.....	2	録音のしかた.....	10
接続のしかた.....	3	テープの取り扱いかた.....	13
各部のなまえと働き.....	4	知っておきましょう.....	14
テープを聴く.....	6	故障かな?と思ったら.....	16
テープの再生.....	6	定格.....	18
DPSS.....	8	保証とアフターサービス.....	19
飛び越し選曲.....	8		
無音部分を早送りして聴く(ダッシュ&プレイ).....	8		
同じ曲を繰り返し聴く(1曲リピート再生).....	8		
巻戻し再生.....	9		

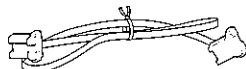
付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

オーディオコード(2本)



システムコントロールコード(1本)

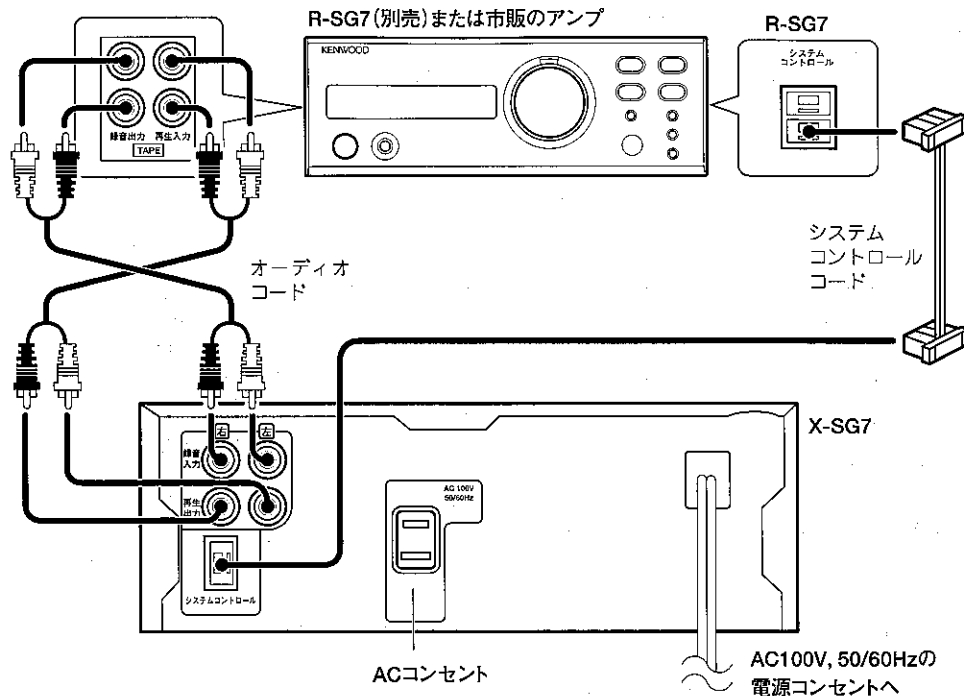


下図のように接続してください。
関連システム製品を接続するときは、関連機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

注意 接続が完了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。

マイコンの誤動作について

正しく接続したのに操作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、「故障かな?と思ったら...」を参照してマイコンをリセットしてください。

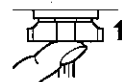


警告 ACコンセント

背面のACコンセントが供給できる電力は100Wまでです。接続する装置の消費電力が100Wを超えないようにしてください。火災の原因になります。電熱器具、ヘアドライヤー、電磁調理器などは接続しないでください。また、供給電力以内であっても、テレビなど電源を入れたときに大電流が流れる機器は使用しないでください。

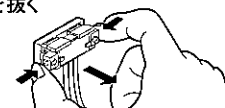
システムコントロールコードの接続

コネクターを差し込む



カチッと音がするまで平行に差し込み、確実にロックする

コネクターを抜く



コネクター一部分の両端を押しながらまっすぐに引き抜く

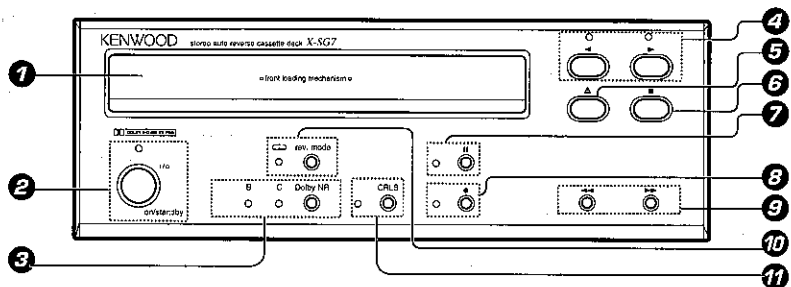
システム動作について

アンプ・チューナー(R-SG7)とシステムコントロールコードで接続されているとき、アンプ・チューナー付属のリモコンで基本操作ができます。また、アンプ・チューナーの入力切り換えに対応した動作をするイージーオペレーションが可能です。詳しくはアンプ・チューナーの取扱説明書をお読みください。



1. すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
2. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行なうと、誤動作または破損の原因となります。

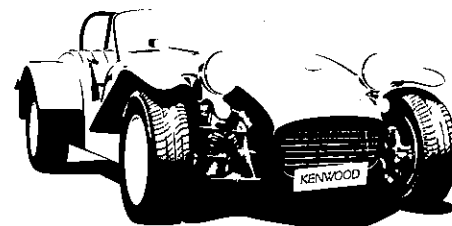
各部のなまえと働き

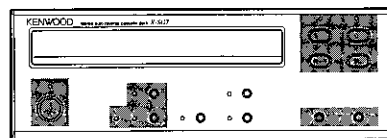


- | | | | |
|--|-----|---|-----|
| ① テープトレイ
カセットテープを収納します。 | → ④ | ⑤ オープン/クローズキー(▲)
テープを出し入れするときに、テープトレイを開きます。 | → ④ |
| ② I/O(on/standby)キー/スタンバイインジケータ
電源のオン/オフ(スタンバイ)を切り換えます。システム接続しているときは、使用しません。 | → ② | ⑥ 停止(■)キー
→ ⑦ | → ⑦ |
| ③ Dolby NRキー/インジケータ
ドルビーノイズリダクションのオン/オフを切り換えます。 | → ③ | ⑦ 一時停止(II)キー/インジケータ
→ ⑦ | → ⑦ |
| ④ 再生キー(◀ ▶)/動作インジケータ
停止、一時停止時：走行方向が赤く点灯します。
再生、録音時：緑色に点灯します。
早送り、早戻し時：緑色に点滅します。 | → ③ | ⑧ 録音(●)キー/インジケータ
録音を始めます。録音中に押すと、約4秒間の無音部分(アキ)を作ってから停止します。 | → ⑧ |
| | | ⑨ 早送り、早戻し(◀▶)キー
→ ⑦ | → ⑦ |
| | | ⑩ "rev. mode"キー/インジケータ
デッキのリバースモード(繰り返し、片面)を切り換えます。 | → ⑩ |
| | | ⑪ CRLSキー/インジケータ
録音する音楽ソースに合わせて、録音レベルを自動設定します。 | → ⑪ |

スタンバイ状態について

本機のスタンバイインジケータが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といいます。このとき、リモコンで本機をオンできます。

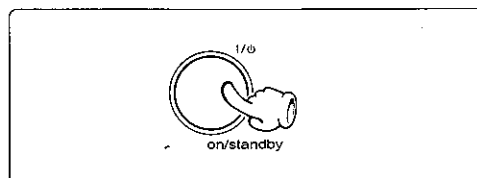




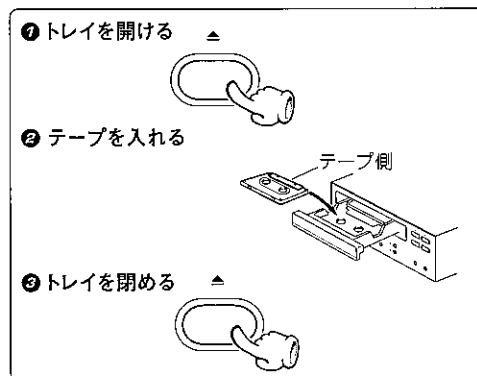
■ : 使用するキー、または、つまみ等を示します。

テープの再生

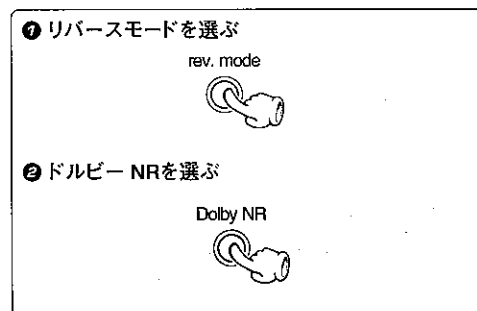
1 電源を入れる



2 カセットテープを入れる



3 再生モードを決める



- テープは、図のように正しく入れてください。間違った入れ方をすると、故障の原因となります。
- ノーマル(TYPE I)、ハイ(TYPE II)、メタル(TYPE IV)のテープ選択は、自動設定されます。
- テープはたるみのない状態にしてください。

100分以上のテープは大変薄く、ピンチローラーに巻きついたり、切れたリトラブルが発生しやすいので、ご使用はお避けください。

押すたびに切り換わります。

- リバースモード
"rev. mode"キー
- ① "◀▶"点灯... 両面をエンドレス再生する
 - ② 消灯 片面のみを再生して止まる

- ドルビーノイズリダクション
"Dolby NR"キー
- ① "B"点灯.... ドルビー-B NRを使う
 - ② "C"点灯.... ドルビー-C NRを使う
 - ③ "B" "C" 消灯.... ドルビー-NRを使わない

- ドルビー-NRをオンにして録音したテープを再生するときは、録音したドルビー-NRを選んで再生してください。

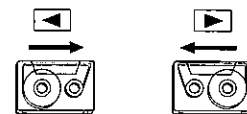
4 再生する

◀または▶ キーを押す

うら面を再生するとき



おもて面を再生するとき



うら面を再生

おもて面を再生

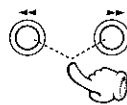
- 走行方向が逆のときは、再生したい方向のキーを押してください。

早送り、早戻しするには

停止中に押す

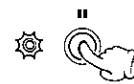
◀方向に早送りする

▶方向に早送りする



- 早送りを止めるときは、■ キーを押してください。

一時停止するには



- キーの左のインジケータが点灯します。
- 再生を再開するときは、再生キーを押します。

再生を止めるには



ドルビーノイズリダクションについて

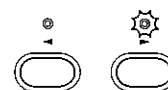
ドルビー-NRシステムはテープを聴くときの"サー"というヒスノイズをできるだけ聞こえにくくするためのシステムです。BタイプとCタイプがありますが、録音するときと再生するときと同じタイプを選ばないと効果がありません。テープには"B"、"C"の区別を書き込んでおきましょう。

- ドルビー-B NR: 一般的なドルビー-NR方式です。
- ドルビー-C NR: Bタイプよりノイズ低減効果が優れています。

走行方向表示について

イーザーオーバーションなどで、再生や録音が自動スタートするときの、テープが進む方向を◀、▶のインジケータの点灯で示します。最後にテープを止めたときの方向が記憶されます。(向きを変えるときは、いったん逆向きの再生キーを押してから■を押します。)

走行方向表示

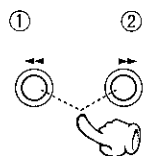


DPSS

DPSS(ダイレクト・プログラム・サーチ・システム)で、4秒以上の無録音部分を「曲間」として探し出して、カセットテープをCDのように手軽に操作できます。

飛び越し選曲

曲の頭出しをしたり、途中の曲を飛び越して、目的の曲の最初から再生することができます。最大16曲まで飛び越せます。



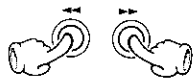
▶方向に再生中

- ① 聴いている曲の最初に戻るとき : 1回押す
4曲前に戻るとき : 5回押す
- ② 次の曲を聴くとき : 1回押す
4曲先を聴くとき : 4回押す

無音部分を早送りして聴く (ダッシュ&プレイ)

再生中に10秒以上の無音があると、その部分を自動的に早送りし、音声のある部分だけを再生します。

同時に押す



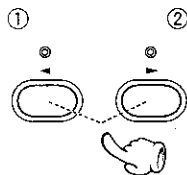
●リバースモードの状態では動作が変わります。

- ① "cc"点灯.. 両面を8回繰り返し再生して止まる
- ② 消灯 片面のみを8回繰り返し再生して止まる
- 停止キーを押すと再生が停止し、ダッシュ&プレイは取り消されます。

同じ曲を繰り返し聴く (1曲リピート)

同じ曲を16回繰り返し再生します。

再生中に押す



- ① うら面を聴いているとき (◀点灯中)
- ② おもて面を聴いているとき (▶点灯中)
- そのとき聴いている曲を、16回繰り返し再生して再生し、通常の再生に戻ります。
- 停止キーを押すと再生が停止し、1曲リピートは取り消されます。

巻き戻し再生

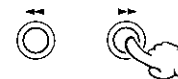
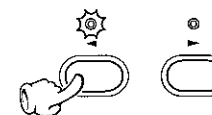
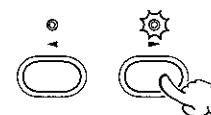
そのとき聴いている面の最初まで巻き戻してから、再生が始まります。

おもて面を聴いているとき (▶点灯中)

うら面を聴いているとき (◀点灯中)

同時に押す

同時に押す



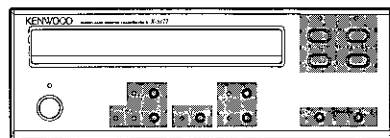
次のようなテープでは、DPSS機能が正常に動作しません。

- 会話、落語などで音声4秒くらい途切れるテープ
- クラシック音楽など、1曲の中に、音量が極端に小さくなる場所のあるテープ
- 曲間に、大きな雑音などが録音されているテープ
- 曲間が4秒未満のテープ
- 小さな音で録音されたテープ
- クロスフェード録音(前曲の最後に、次曲の最初が重なっていること)されたテープ

本機はDOLBY HX Pro headroom extensionにより、高域特性の優れた録音ができます。

X-SG7 (JA)

X-SG7 (JA)



■：使用するキー、または、つまみ等を示します。

録音のしかた

1 デッキにテープを入れる

- ① トレイを開ける
- ② テープを入れる
- ③ トレイを閉める

2 テープの進む向きを選ぶ

走行方向表示を確認する

走行方向が逆のときは、再生したい方向のキーを押した後、停止キーを押してください。

3 録音条件を決める

- ① リバースモードを選ぶ
- ② ドルビー NR を選ぶ

● 本機はメタルテープでの録音はできませんのでご注意ください。

- ノーマル(TYPE I)、ハイ(TYPE II)のテープ選択は、自動設定されます。
- テープはたるみのない状態にしてください。

● 100分以上のテープは大変薄く、ピンチローラーに巻きついたり、切れたりトラブルが発生しやすいので、ご使用はお避けください。

- 録音を始めると、このとき選んだ方向にテープが進みます。
- テープの頭出し(録音を始める位置をさがすこと)をおきます。

押すたびに切り換わります。

リバースモード
"rev. mode"キー

- ① "↔"点灯... 両面を録音して止まる
- ② 消灯..... 片面のみを録音して止まる

ドルビーノイズリダクション
"Dolby NR"キー

- ① "B"点灯.... ドルビーB NRを使う
- ② "C"点灯.... ドルビーC NRを使う
- ③ "B" "C" 消灯.... ドルビーNRを使わない

4 何を録音するか選ぶ

接続しているアンプ(アンプ・チューナー)を録音したい再生ソースの入力にする(TAPE以外)

5 録音をスタートさせる

- ② 録音を始める
- ① 録音する入力ソースを再生(受信)する

- CRLS機能を使用すると、録音レベルの自動調整ができます。
- 録音が始まります。
- 録音する面(片面または両面)が終了すると、自動的に終了します。

録音を一時停止する

- 録音を再開するときは、録音キーを押します。

録音を中断するには

録音を中断した直後に約4秒間の無音部分をつくります。

- 約4秒後に録音ポーズ状態になります。

約4秒間の無音部分をつくる

- ① 停止状態にする
- ② 録音キーを2回押す

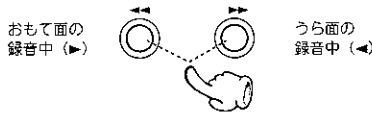
- 約4秒間の無音部分をつくり、録音ポーズ状態になります。

録音をおわるには

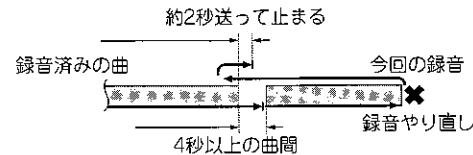
録音をやり直したいとき

録音開始位置に戻ります。

録音中に早戻しキーを押す



- 録音が中止され、テープは図のように巻き戻されます。(録音開始位置の手前に4秒以上の無音部分がある場合)



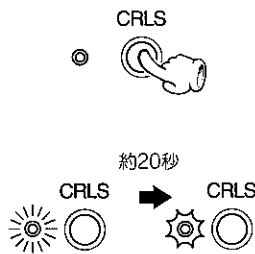
- 録音済みの曲が手前がない場合は、テープを巻き取って止まります。

録音レベルを自動調整する (CRLS)

本機には、標準的な録音レベルがあらかじめ設定されていますが、CRLS機能を使うと、音楽ソースに最適の録音レベルを自動的に設定します。

- 1 録音したい内容を再生する
(目的の放送局を受信する)

- 2 CRLSキーを押す



一度もキーを押さないと...

当社が設定した基本レベルで録音されます。

キーを押すと...

録音レベルを自動設定し、そのとき選んでいた入力の録音レベルとして記憶します。次からはキーを押さなくても同じレベルで録音できます。

基本レベルに戻すには...

インジケータが消えるまで(約3秒間)キーを押し続けたままにしてください。

- 約20秒で録音レベルの設定が終了し、録音ポーズ状態になります。
- 設定中(点滅中)に録音を始めると、ひずんだ音が録音される場合があります。
- CRLSキーを押したときから3秒以上無音が続くと、録音レベルの設定は中止されます。

CDまたはMDから録音するときのポイント

CD,MDを録音するときは、カセットデッキを録音ポーズ状態にしておくと、音楽ソースの再生とカセットデッキの録音を同時に始めることができます(シンクロ録音機能)。

- 1 再生するCDまたはMDを一時停止にする
 - 2 録音したい曲をスキップキー(◀◀ ▶▶)で選ぶ
(選んだ曲の最初で一時停止になります。)
 - 3 カセットデッキを録音ポーズ状態にする
 - 4 CDまたはMDの再生を始める
(シンクロ録音が始まります。)
- 再生機器の停止キーを押すと、録音を中止します。

ドルビー-HX Proとは

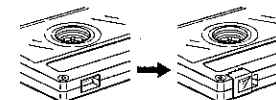
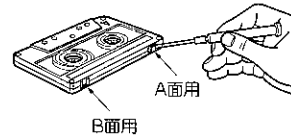
DOLBY HX Pro headroom extensionとは、録音中に、録音している音の周波数成分に応じてバイアス電流をコントロールすることで、シンバルなどの高音域を美しく録音するシステムです。本機で録音すると、自動的にこのシステムが働きます。

カセットテープについてのご注意

誤消去防止装置

大切な録音のあとには、カセットのツメを折ってください。

誤消去・誤録音が防げます。

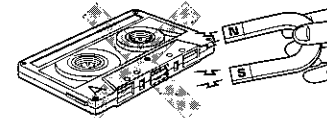


再び録音するには ツメを折った所だけにテープをはる。

カセットテープの保管について

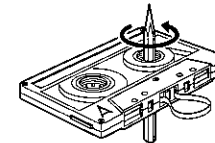
直射日光下や暖房器などのそばに放置しないでください。

また、磁石や磁気は近づけないでください。



テープがたるんでいる場合

このような場合には、リール軸に鉛筆などを差し込んで、テープのたるみをとってから装着してください。



1.100分以上のテープについて

100分以上のテープは大変薄く、ピンチローラーに巻きついたり、切れたりトラブルが発生しやすいので、ご使用はお避けください。

2.エンドレステープについて

エンドレステープは故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

メンテナンス

ヘッドのお手入れ

ヘッド回りのクリーニング

いつまでも最良の状態でご使用になるには、テープ再生時間約10時間ごとに、ヘッド(録音/再生/消去)、キャプスタン、ピンチローラーのクリーニングを心がけてください。クリーニングは、市販のクリーニングテープで行ってください。詳しくは、クリーニングテープの取扱説明書をお読みください。

セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でがらぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

ヘッドの消磁

録音・再生ヘッドが磁気を帯びると雑音が大きくなります。市販の消磁器(ヘッドイレーサー)で消磁してください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を变形させることがあります。

参考

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。

このようなときには、本機の電源を入れた状態で、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

次のような状態のときは、特に結露にご注意ください。気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋など。

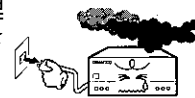
異常が起きた場合は



煙が出たり、変な臭いや音が出る場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。



著作権について

あなたが録音または録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

ドルビーノイズリダクション及びHX PROヘッドルームエクステンションはドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。HX PROはバングアンドオルフセンの考案です。

ドルビー、DOLBY、ダブルD記号及びHX PROはドルビーラボラトリーズの商標です。

ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を開けたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作(操作できない、ディスプレイの誤表示など)することがあります。この場合、次の手順をお試しください。

電源コンセントから電源プラグを抜き、停止(■)キーを押しながらも一度電源プラグを差し込み直す。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

症 状	原 因	処 置
再生キーを押しても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●コードの接続が間違っている。 ●ヘッドが汚れている。 ●巻き取りムラがありテープが重くなっている。 ●未録音テープを再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"接続のしかた"に従い正しく接続する。 → [3] ●"ヘッドのお手入れ"をみて、ヘッドを清掃する。 → [14] ●テープを交換してみる。 ●録音済みテープを使う。
操作キーを押しても作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●電源を入れてから、4秒以内に操作キーを押している。 ●テープが入っていない。 ●巻き取りムラがありテープが重くなっている。 ●テープがどちらかに巻き取られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●4秒以上たってから操作キーを押す。 ●テープを入れる。 ●テープを交換してみる。 ●デッキの走行方向をかえる、またはテープを裏返す。
DPSSが誤動作する。	<ul style="list-style-type: none"> ●曲と曲の間が短いなどDPSSに不適当なテープを使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"飛び越し選曲"をお読みください。 → [8]
オープン/クローズキーを押してもトレイが開かない。	<ul style="list-style-type: none"> ●録音中、または再生中に押している。 ●外部からの雑音によりマイコンが誤動作した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●停止状態で押す。 ●いったん電源プラグを抜いて、差し込み直す。
音がかすれたり高音が出なくなる。	<ul style="list-style-type: none"> ●ヘッドが汚れている。 ●テープがのびたり、ワカメ状になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"ヘッドのお手入れ"をみて、ヘッドを清掃する。 → [14] ●テープを交換する。
音がひずむ。	<ul style="list-style-type: none"> ●CRLSキーで録音レベルの設定をしていない。 ●ひずんだ音で録音されたテープを再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"録音のしかた"をお読みください。 → [10] ●テープを交換する。
雑音が大きい。	<ul style="list-style-type: none"> ●ヘッドが磁気を帯びている。 ●外部の雑音を誘導している。 ●ドルビーNRをオンで録音したテープをオフで再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"ヘッドのお手入れ"をみて、消磁する。 → [14] ●電気器具、テレビなどから離す。 ●ドルビーNRをオンにする。 → [6]

症 状	原 因	処 置
音がふるえる。	<ul style="list-style-type: none"> ●キャプスタン、ピンチローラーが汚れている。 ●テープに巻き取りムラがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"ヘッドのお手入れ"をみて、ヘッドを清掃する。 → [14] ●テープの端から端まで通して早送り、巻戻し、または再生をして巻き直す。
録音キーを押しても録音できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●カセットテープのツメが折れている。 ●アンプの入力切換が、TAPEになっている。 ●テープがどちらかに巻き取られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ツメの折れていないテープを使う、または穴をふさぐ。 → [13] ●アンプの入力切換を録音したいソースにする。 ●デッキの走行方向をかえる、またはテープを裏返す。



1. テープの種類によっては、自動的にテープが止まったときに"キュー"という音がすることがあります。これはテープ保護機構が働くためで、故障ではありません。
2. 100分以上のテープは、テープ厚が薄くてわかめ状になりやすいため、ご使用にならないでください。

トラック方式	4トラック2チャンネルステレオ
録音方式	交流バイアス(周波数:105 kHz)
ヘッド	
録音・再生ヘッド	1
消去ヘッド	1
モーター	DCモーター X1
ワウ&フラッター	0.1% (W.RMS)
早巻き時間	約110秒 (C-60)

周波数特性

TYPE I (ノーマルテープ)	.. 40 Hz~18 kHz, ± 3 dB
TYPE II (クロームテープ)	.. 40 Hz~19 kHz, ± 3 dB
総合SN比 (クロームテープ)	
DOLBY NR OFF 60 dB
DOLBY B NR ON 67 dB
DOLBY C NR ON 73 dB

入力感度/インピーダンス

ライン (REC) 77.5 mV/47 k Ω
出力レベル/インピーダンス	
ライン (PLAY) 775 mV/10 k Ω

[電源部・その他]

電源電圧・電源周波数 AC 100V, 50 Hz/60 Hz
定格消費電力 (電気用品取締法に基づく表示) 10 W
ACコンセント 1 (非連動最大100 W)
最大外形寸法	
幅	200 mm
高さ	77 mm
奥行	249 mm
質量 (重量) 2.2 kg (正味)



- これらの定格およびデザインは、改善のため、予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い(水が凍るような)場所では、十分な性能が発揮できないことがあります。

保証書 (別途添付)

製品には保証書が(別途)添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーションへお問い合わせください。
(お問い合わせ先は、添付の「ケンウッドサービス網」をご覧ください。)

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーションにお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーションが修理をさせていただきます。
修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理/持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される場合は、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号 (Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。
この期間は、通商産業省の指導によるものです。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。
付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お買い上げ店名

電話 ()